

RACING
OIL COOLER **BR**

取 付 説 明 書

ND5RC / NDERC / ND5RE

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

お願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 適合車型：MAZDA ロードスター / ロードスターRF
ND5RC (15/05-)/NDERC MT (16/12-18/07)/NDERC AT (16/12-)
ND5RE MT (24/01-)
 - エンジン：P5-VP[RS] / P5-VPR[RS] / PE-VPR[RS]
 - 製品名称：BLITZ RACING OIL COOLER KIT BR
 - 製品番号：10477
- 注) 適合情報は変更される場合があります。詳しくは弊社 Web サイトをご覧ください。

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話または FAX にて下記宛にお願いします。

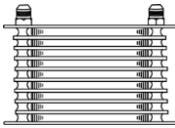
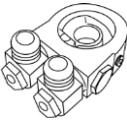
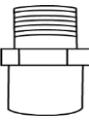
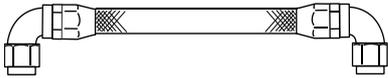
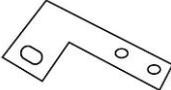
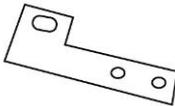
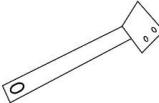
- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住所：東京都西東京市新町 4-7-6
- FAX：0422-60-0066

はじめに確認して下さい！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店までご連絡下さい。作業前に、作業手順、必要部品を十分確認の上、不足部品等が無いよう準備を行ってから作業を開始して下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えたりしないよう、取り扱いには十分注意して下さい。装着不良でオイル漏れや故障の原因になる場合があります。

重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。メーカー純正部品及び弊社製品以外の社外品(マフラー、ECU、パイピングKIT、ブローオフバルブ等)を装着されている場合の製品の不具合、マッチングの不具合、破損等に関して一切保証は致しかねます。またこれら社外品を装着している場合や事故歴のある車輛は本製品の装着ができない場合があります。
- 出力向上等に伴うエンジン本体及び駆動系部品の破損等に関する保証は致しかねます。
- 作業時は平坦かつ安全な場所でパーキングブレーキ等を作動させて車両を確実に停止させて下さい。また必ずエンジンを停止させ、エンジン及び周辺部品が完全に冷えた状態で作業を行って下さい。身体障害及びやけどの原因となります。
- 作業は自動車メーカー発行の作業手順書(修理書)の記載内容を確認し、指示に従って作業して下さい。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 本製品を指定の車輛以外に装着したり改造した場合、当社は一切責任を負いません。
- エンジンオイル漏れは車両火災となる恐れがあり、大変危険です。走行前には必ずオイル漏れやネジ等の緩みがないか点検を行なって下さい。
- 異物の混入によるエンジン破損を防止する為に、作業中はコア、ホース、アタッチメント、フィルター、エンジンブロックには封をする等、異物が混入しないように注意して下さい。
- オイルフィルターは再使用せず、新品を使用して下さい。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行して下さい。

■ パーツリスト ■					
コア本体	オイルブロックASSY		センターボルト		
	1		1		1
クーラーホースNo.1 (L=1100mm)			クーラーホースNo.2 (L=1380mm)		
		1			1
ステーNo.1	ステーNo.2		ステーNo.3		
	1		1		1
フランジボルトM6×20	7	フランジナットM6	6	フランジボルトM8×20	2
ワッシャーφ16	6	タイラップ	#	コルゲートチューブ (1m)	2

エンジンオイル必要量 (L)		
オイルフィルター交換時	本製品必要量	合計
4.3	約1.0	約5.3

□仕様

- BLITZ OIL COOLER KIT は、オイルブロックをオイルフィルターで挟んで固定するタイプのオイルクーラーです。オイルブロックにはサーモスタッドを内蔵し、油温がサーモスタッドの作動温度に達するとオイルはコア本体へ循環し冷却されます。サーモスタッド作動温度以下の場合にはコア本体へのオイルの循環は行われず、過剰冷却を防ぎエンジンに最適な油温を維持します。周囲には PRESS 及び TEMP センサー取り付け用の穴が設けられています。
- 新開発のバンジョウタイプ自在ユニオンを採用し（一部車種）、ホースの取り出し向きが向上しています。
- 新開発のフィッティングを採用し、オイル漏れに対して大幅に信頼性を向上させています。
- ホースは車種に合わせ最適な長さにカットされ、フィッティングがセットされています。キット取り付け時にフィッティング組み付け等の面倒な作業はありません。

●サーモスタッド作動温度：70℃～85℃±3℃

●センサー取り付け穴：

1/8PT（弊社 PRESS/TEMP センサーの取り付けが可能です。）

※車種により周囲のスペースが確保できない為、センサーの取り付けが出来ない場合もあります。

※図は説明用のため車種により付属されるユニオンの種類、位置が異なる場合があります。

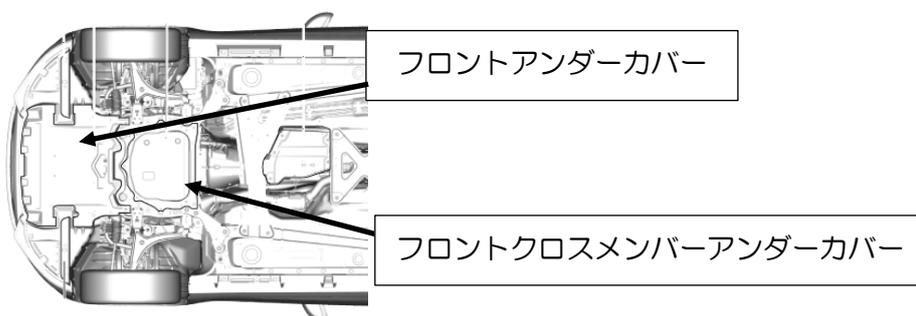


□作業前の注意事項

- 故障や事故を未然に防ぐ為、装着作業は認証整備工場などの資格のある専門店で作業を行ってください。
 - 作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。
純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
 - 作業を行う前にオイル、またはオイルフィルターの準備をお願い致します。
ロードスターの場合オイルフィルター交換時の規定オイル量は 4.3L になります。
オイルクーラーコアとホース類を装着することで約 1.0L オイルを追加する必要があります。
 - 作業の方へお願い。
作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様にご返却して下さい。
- ★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

■作業手順

- ① バッテリーのマイナス（－）端子を取り外します。
- ② フロントバンパーを取り外します。
※純正部品は、整備要領書等を参考に作業を行って下さい。
※必要に応じて取り外した部品にマーキングを行いながら作業を行って下さい。
- ③ フロントアンダーカバー及びフロントクロスメンバーアンダーカバーを取り外します。



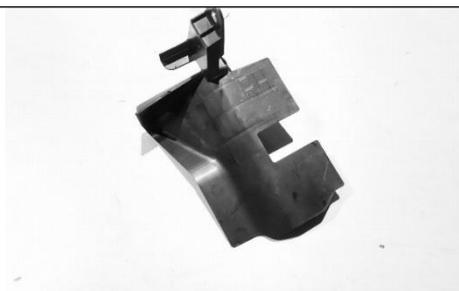
④ ND5RC、NDERC に取り付ける場合

手順③から作業を行って下さい。

ND5RE に取り付ける場合

運転席側(RH側)のシール・プレートの取り外し及びエア・シール・カウル・アップに取り付けられた外気温センサーを取り外し、エア・シール・カウル・アップを取り外します。

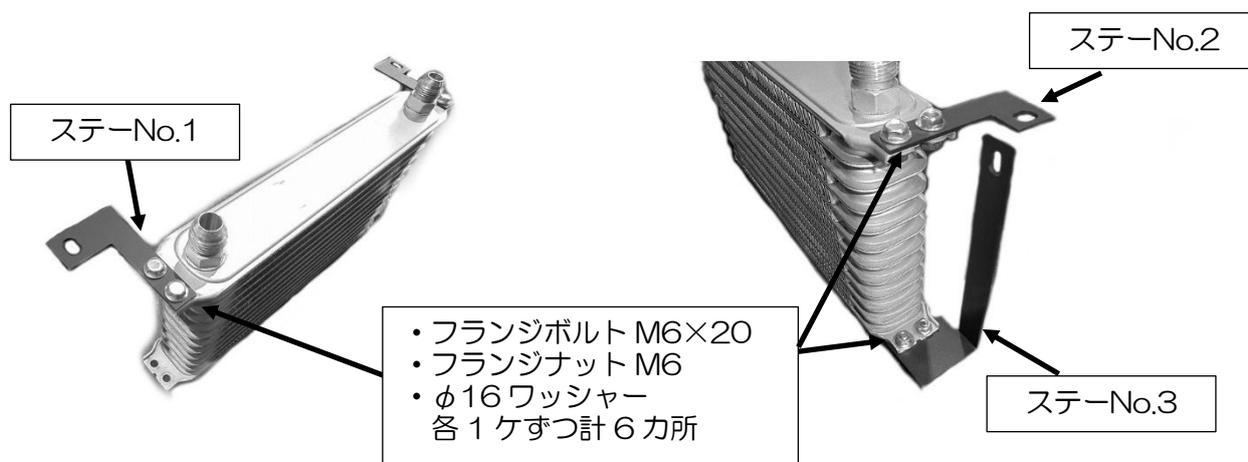
シール・プレート 運転席側(RH側)



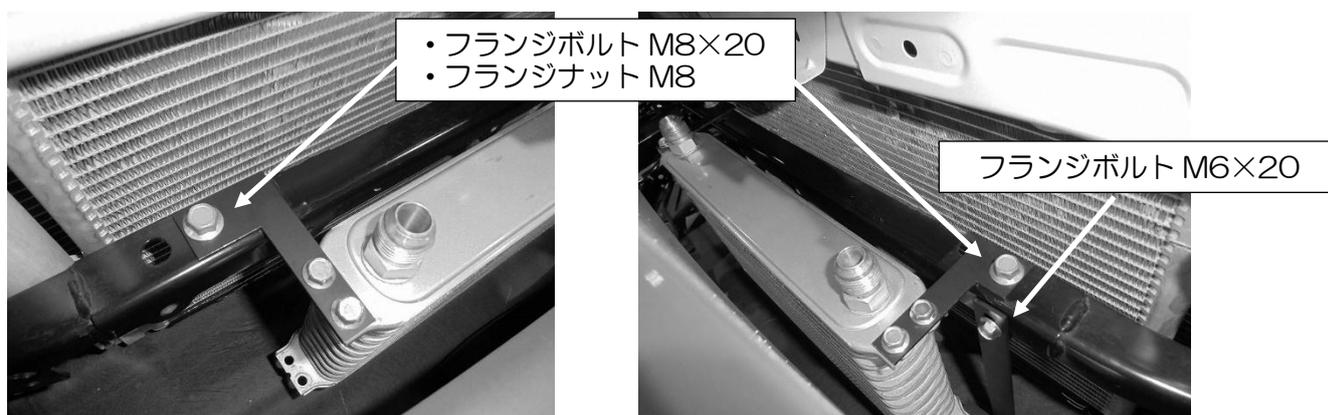
エア・シール・カウル・アップ



- ⑤ 図を参考にフランジボルト M6×20(6 個)、フランジナット M6(6 個)、
φ16 ワッシャー(6 個)を使用して付属のステーNo.1~No.3 を仮組みします。

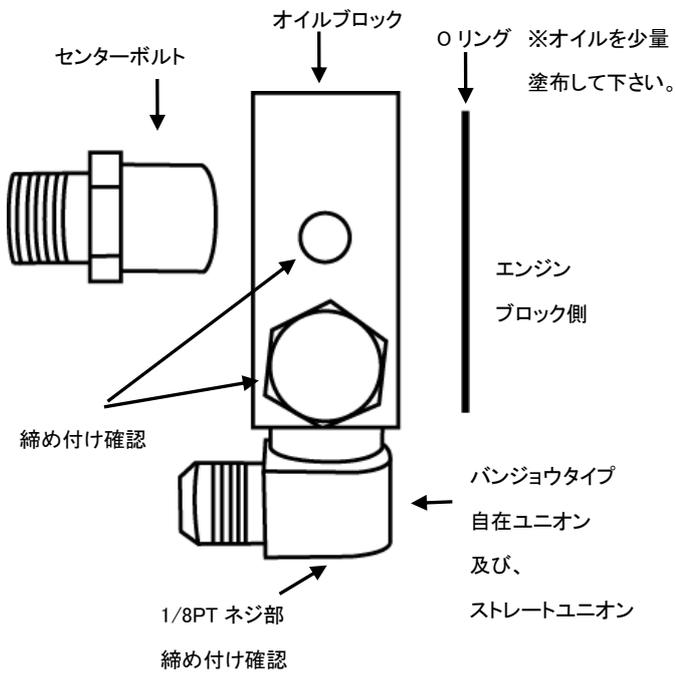


- ⑥ 図を参考にフランジボルト M8×20(2 個)、フランジナット M8(2 個)、
フランジボルト M6×20(1 個)を使用してコア本体を仮組みします。



- ⑦ エンジンオイルを抜き取り、オイルフィルターを取り外して下さい。

- ⑧ オイルブロックを付属のセンターボルトを使用して取り付けます。
 ※付属のOリングに少量のオイルを塗布して、オイルブロック溝部へ取り付けして下さい。
 ※取り付ける前にセンサープラグ及びサーモスタットが締まっているか確認して下さい。
 ネジ部は締めすぎに注意して下さい。
 ※センターボルトの締めすぎに注意して下さい。

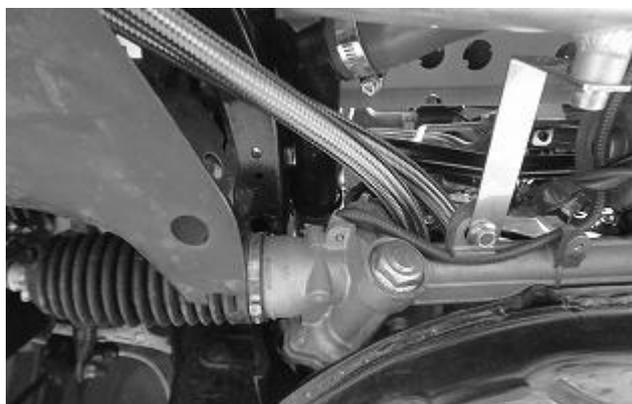
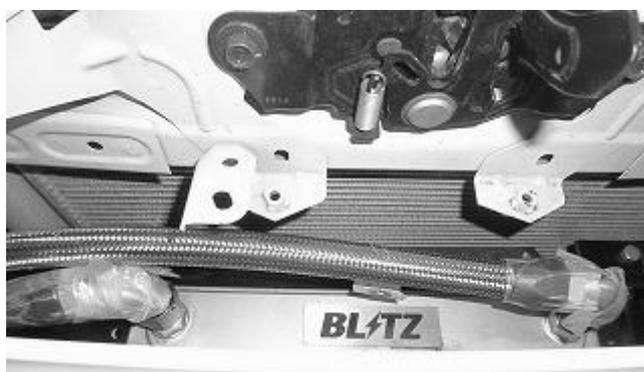


- ⑨ 稼動部分等に干渉が無いようフィッティングの位置を調整して、センターボルト、自在ユニオンフィッティングを締め付けます。ホースの取り回しは図を参考して下さい。
 オイルブロックの自在ユニオン側にクーラーホースNo.1の90度フィッティングを、
 ストレートユニオン側にクーラーホースNo.2の45度フィッティングを装着して下さい。
 (本商品のホースはブラックナイロン製になります。フィッティングの色は赤、黒になります。)
 ※フィッティングをコアに取り付ける前に、ホースとフィッティングがしっかりカシメてあるか確認して下さい。



フィッティングの赤と黒の部分を締め付けて確認します
 アルミ製ですので締め付けすぎの破損に注意して下さい

- ※コア本体及びオイルブロック部分のフィッティング周囲にあまりスペースがありません。
 車上で締め付けが困難な場合は、一度仮付けを行いフィッティングの角度をマーキング、
 コア ASSY、オイルブロックを車両より取り外し、フィッティング類を締め付けてから
 再度車両へ取り付けて下さい。
 車上で無理にフィッティングの取り付けを行うと、ネジ部を傷付け漏れの原因となります。
 ※ホースが干渉する部分には付属のコルゲートチューブを取り付けてホースを保護して下さい。
 ※ホースは付属のタイラップで、周囲の適当な位置へ固定して下さい。



⑩ ND5RC、NDERC に取り付けの場合

手順⑬から作業を行って下さい。

ND5RE に取り付けの場合

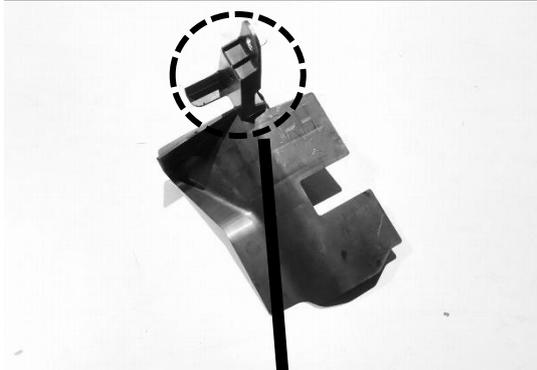
取り外したシール・プレートとエア・シール・カウル・アップのカット加工を行います。

シール・プレートの加工

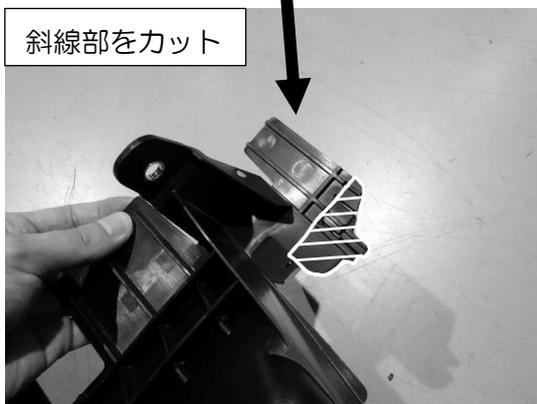
図を参考にシール・プレートの運転席側(RH側)のみ加工します。

加工後はシール・プレートを仮組みし、クーラーホースとなるべく干渉しないように加工範囲の確認及び取り付け位置の調整を行って下さい。

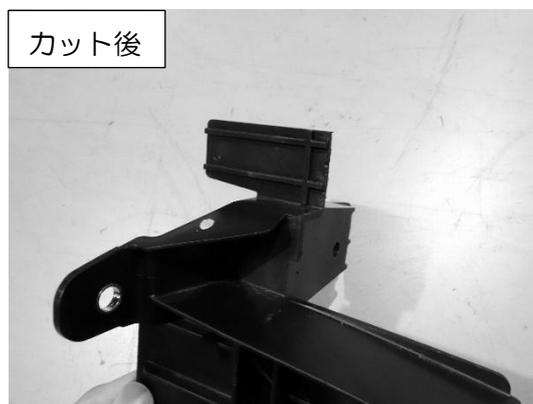
シール・プレート 運転席側(RH側)



斜線部をカット



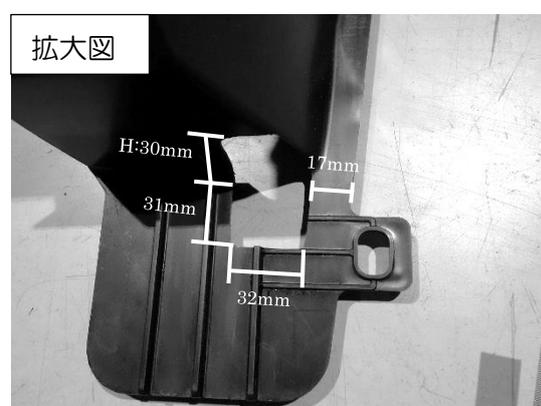
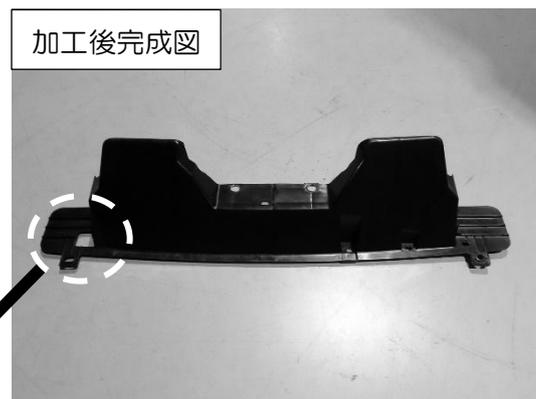
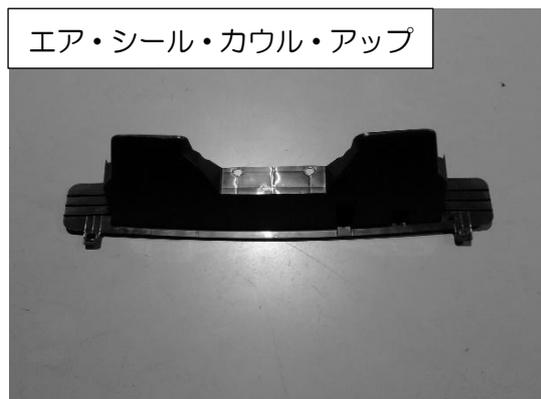
カット後



エア・シール・カウル・アップの加工

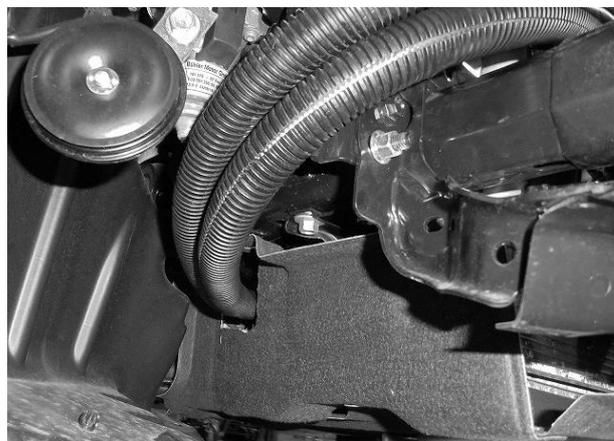
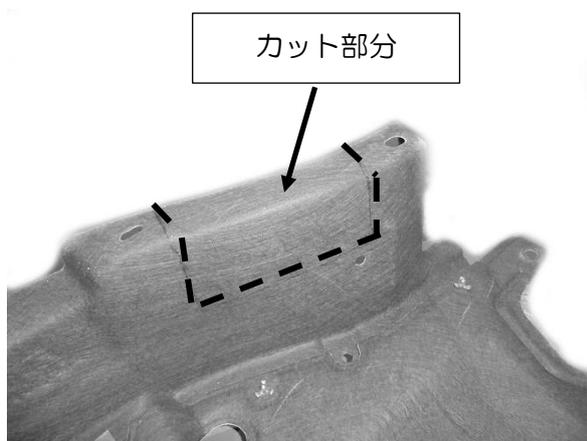
図を参考にエア・シール・カウル・アップのカット加工を行います。

※カット寸法はおおよその寸法値になります。



- ⑪ 仮組みしたクーラーコアを一旦取り外し、エア・シール・カウル・アップを仮組みします。
- ⑫ 取り外したクーラーコアを再度仮組みし、クーラーホースに負荷が掛からないようにエア・シール・カウル・アップの加工範囲の確認及び取り付け位置の調整を行って下さい。
- ⑬ 各部品的位置や干渉に問題が無ければ、仮組みしている全てのボルト類及びステー、フィッティング等を締め付けて下さい。

- ⑭ オイルフィルターを取り付けます。
- ⑮ バッテリーのマイナス（－）端子を接続します。
- ⑯ エンジン始動前に、クランキングを行いオイルをコアまで十分に循環させたのち、下記項目を確認して下さい。
- ・ エンジンオイルがレベルゲージ内にあるか。
 - ・ ホースが他の部品に干渉していないか。
 - ・ オイル漏れは無いか。
 - ・ 各部に締め忘れは無いか。
- ⑰ 確認後、問題が無ければエンジンを始動し、各部に漏れが無いか等の確認を行って下さい。またエンジンの回転数を上げて、十分に油圧が掛かる状態でも漏れが無いか等の確認を行って下さい。
- ⑱ フロントアンダーカバーとオイルホースが干渉する部分をカット加工して下さい。



- ⑲ オイル漏れや、干渉が無く問題が無ければ、フロントアンダーカバー、フロントクロスメンバーアンダーカバー、フロントバンパーを取り付けて下さい。

以上でキット取り付け作業は終了です。

□注意□

- ・ ボルト類の締め忘れが無いか再度確認して下さい。
- ・ 作業の方へ、作業が終了しましたら、本取扱説明書は、必ずお客様に返却して下さい。
- ・ 走行前には必ずオイル漏れがないかを再度点検をして下さい。
- ・ 走行中に、異臭、異音、振動など異常があった場合は、安全な場所に車を止め、点検を行なって下さい。
- ・ 装着後も、定期的に緩みや干渉が無いか確認を行って下さい。

BLATZ